

報告事項ク

鳥取県立美術館整備運営事業に係る落札者の決定について

鳥取県立美術館整備運営事業に係る落札者の決定について、別紙のとおり報告
します。

令和2年1月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

鳥取県立美術館整備運営事業に係る落札者の決定について

令和2年1月15日
博 物 館

「鳥取県立美術館整備運営事業」について、3グループから入札提案書類の提出があり、鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会(美術館整備運営事業)の審査の結果、最優秀提案が選定され、その選定結果を踏まえ、下記のとおり落札者を決定しましたので報告します。

記

1 落札者

大和リースグループ

区分	役割	企業名	所在地
代表企業	全体統括・資金調達	大和リース(株) 山陰営業所	島根県
構成員	設計・建設	(株) 竹中工務店広島支店	広島県
構成員	建設	(株) 懸樋工務店	鳥取市
構成員	建設・運営	(株) 丹青社	東京都
構成員	運営	アクティオ(株) 大阪支店	大阪府
構成員	維持管理	三菱電機ビルテクノサービス(株) 中国支社	広島県
構成員	維持管理	セコム(株)	東京都
構成員	維持管理	富士総合警備保障(株)	鳥取市
構成員	維持管理	山陰リネンサプライ(株)	鳥取市
協力企業	設計・工事監理	(株) 楨総合計画事務所	東京都

2 落札価格

14,265,981,372円(消費税及び地方消費税を含む)

*入札予定価格14,344,835,000円

3 提案内容

別紙「提案書概要版」のとおり

*入札参加者が、県民参加型公開プレゼンテーション用に公開に付しても差し支えない内容としてまとめたものです。

4 審査会による審査結果の公表

審査会での提案審査の結果(評価項目・入札参加者ごとの評価点数・審査講評)及びPFI法第11条第1項の規定に基づく客観的評価の結果については、鳥取県立美術館整備運営事業入札説明書Ⅲ4により、令和2年2月上旬を目途に「鳥取県立美術館整備運営事業」審査講評として公表予定です。

(今後のスケジュール)

- 令和2年2月 ・審査講評等の公表
- 令和2年3月 ・事業本契約の締結(議決事項)
- 令和2年前半～ ・設計及び建設工事・開館準備
- 令和6年度中 ・開館

居心地の良い『ひろま』を中心に展開する多様な体験

出会いと発見をもたらす豊かな回遊性

●多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



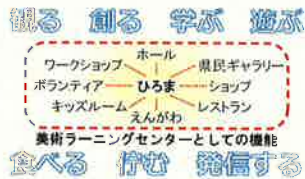
多様な視線の交錯によって生み出される創造性のある『ひろま』の雰囲気

●諸室と連携して多様な活用が可能な『ひろま』
美術ラーニングセンターとして機能する

⇒地域に根差したコミュニティと文化を創造・発信する拠点となります



ワークショップ



展示



パフォーマンス

結婚式

●快適な心地の良い『ひろま』の実現



居住域空調と自然エネルギーの活用

●明快な平面、断面による機能性とわかりやすさ



平面ダイアグラム



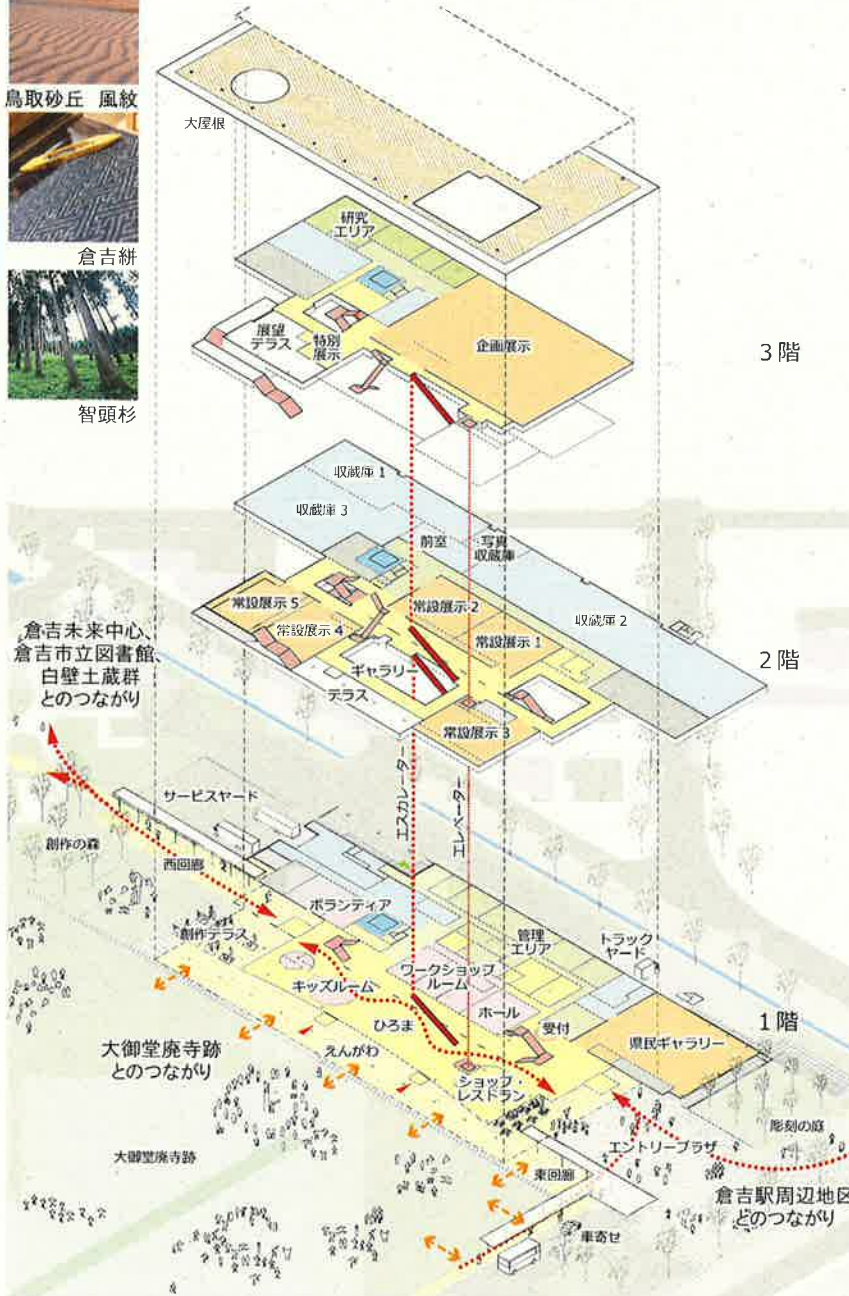
断面ダイアグラム



鳥取砂丘 風紋

倉吉緋

智頭杉



大御堂廃寺跡を一望できる展望テラス



魅力的な展示でにぎわう企画展示室



創作テラスとつながるキッズルーム



広く明るいエントランスロビー



大御堂廃寺跡と連携した催しのイメージ

大御堂廃寺跡と連携した催しのイメージ

“アートピアとっとり”の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます



● 毎日来ても楽しい、何かと出える美術館

- ▶ 1階から3階まで、無料で自由に入れる場所が広がります
- ▶ 年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- ▶ 各所に居心地の良い様々なスペースがあり、“お気に入りの場所” “サードプレイス”としても利用できます



子どもたちの創作ワークショップのイメージ



障がいのある方とアーティストのコラボレーションによる創作活動



キッズルームでの絵本の読み聞かせ会のイメージ

- ▶ 『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークベニューとして活用できます
様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、
愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



『ひろま』はパフォーマンスやコンサート、結婚式など多様な活動に活用できます

● 「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- ▶ 県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなで作る美術館を両立します
- ▶ 学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術ラーニングセンターをより魅力的にします



ボランティアの方々と共に、鳥取のアートを日常的に楽しめる鑑賞ツアーを開催

- ▶ 鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展覧会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます
- ▶ 独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高めます
- ▶ 美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます



ポップカルチャー展と連動したイベントも開催します



運営企業の多彩なポップカルチャー展の実績

運営企業が運営するサイトを活用して広く発信

● 県民の“あったらいいな”でつくるアートな日常

- ▶ レストランは“アートコミュニティダイニング”として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- ▶ 食材や器に県産品を活用し、コンテスト等で県民参加の機会をつくります
- ▶ ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- ▶ レストランでも様々なイベントを開催します



トークイベントなど市民が参加できるイベントも開催



新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ

● 県民が主役となる美術館を創ります

- ▶ 県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんが担い手となる美術館をつくります
- ▶ 3年に一度、トリエンナーレを開催して、美術館から街へとアートを拡げていき、たくさんの人々を呼び込みます



トリエンナーレでにぎわう美術館のイメージ “アートピアとっとり”の実現に向けて